

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9919		事務事業名称	給水装置管理事業						短縮コード	経常	9919	臨時	
予算区分	会計	91	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	04	業務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市水道事業給水条例,							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
・水道事業創設時より。 近年の都市化により，建物の高層化が著しく中小の貯水槽の衛生問題がクローズアップされ，平成8年度「3階建直結給水取扱要領」の制定を行った。 ・給水区域内の給水普及率100%（未給水区域の解消）を目指す。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
衛生環境への意識の高揚とともに，直結給水への要望が多い。 平成14年度に，水道法改正に伴い貯水槽の管理責任を明確化する給水条例を制定する。 平成15年9月から「中層建物直結直圧式給水取扱要領」を定めて5階建てまでの直結直圧給水を可能とした。 さらに，管網整備を進め平成19年4月1日より、6階建て以上の建物についても、ブースタポンプによる直結給水を可能とする。 管網整備の推進と未給水区域の解消。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	02	安心・快適な給水の確保						
						細 項 目	03	給水衛生対策						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成18年4月 ～ 平成19年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	貯水槽の設置者 水道使用者						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 1．新規水道使用者の申請受付，給水装置工事の設計審査，工事監督，工事検査の実施。 2．中層階直結給水の促進。 3．開発事前協議の締結。 4．検定満了及び不動等の水道メータ取替工事。 5．給水台帳の管理。						
	※平成19年度に計画していること： 平成18年度と同じ						
意図 （何を狙っているのか）	直結給水方式に切り替えが可能である。 より安全で安定した清浄な水道水の供給を図る。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	直結給水方式への切り替えを図ることにより受水槽がなくなり，より安全で清純な水を供給できる。 水質基準に適合した水道水の供給をする（水道普及率）。						
区 分			単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	貯水槽の設置数	件	741	735	747	735
	指標2	給水戸数	戸	74,882	75,240	76,305	77,788
	指標3						
活動指標	指標1	既設貯水槽設置者の直結給水の切り替え受付件数	件	8	5	3	5
	指標2	給水装置工事申請受理件数	件	1,310	1,505	2,447	1,515
	指標3						
成果指標	指標1	切り替え実施件数	件	8	5	3	5
	指標2	水道普及率	%	98.8	98.8	98.9	99
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9919	事務事業名称	給水装置管理事業				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			事務事業の一部で民間事業者を活用できないか検討が必要。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			民間事業者を活用することで、コスト、成果の向上を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
貯水槽内の飲料水に対し、設置者及び利用者の衛生環境への意識の高揚。 貯水槽設置スペースの有効利用を図りたい。 既設貯水槽の撤去改造に関しての相談・問い合わせ。									

所属長コメント	複雑，多様化していく事務事業の中で民間事業者を活用することで、コスト、成果ともに向上を図る。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			改革・改善の具体策を検討し民間事業者の活用により推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									